

平成17年度予算のあらまし

わかりやすい ことしの予算



～口大野保育所～

ひと、みあ、みこい 歴史と文化が織りなす交流のまち

平成17年5月

京都府 京丹後市

平成17年度 京丹後市の基本目標と予算規模について

はじめに

市民の皆様には、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、丹後6町が合併して「京丹後市」が誕生してから、1年余りが経ちましたが、本市の行財政を取り巻く状況には大変厳しいものがあります。

しかしながら、厳しいからこそ、市が何をしているのかを市民の皆様にお知らせして、多くの市民の皆様にご参加いただき、協働して市政を運営していくことが欠かせません。そのため、市が何をしているのかを市民の皆様にお知らせするための情報提供のひとつとして、平成17年度の予算に計上した京丹後市の仕事をわかりやすく説明する「わかりやすいことしの予算」をつくることとしました。

市の予算というのは本来、市民の皆様のものであり、市は、予算の内容をわかりやすく説明する責任があります。そこでこの冊子では、法律で定める通常の予算書では伝わらない予算の具体的な内容を図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけました。

また、京丹後市の財政状況をグラフなどで示し、市の台所事情を少しでも理解していただけるようにしています。

ぜひ、この冊子を手に取り、皆様の税金がどのように使われているのかをお確かめください。

そして、疑問や市の課題を発見して議論する一助としたり、行政と市民の皆様が力をあわせて、よりよいまちづくりをすすめるきっかけとなれば幸いです。

平成17年5月

京丹後市長 中山 泰

●基本目標

『ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち』という新市建設計画の将来像を実現するため、3つの基本的な考え方（基本理念）に沿って、活力と魅力あるまちづくりを推進します。財政状況が厳しい中でも夢のある新しい取り組みや、台風23号の教訓を生かした災害に強いまちづくりを積極的に推進します。

●基本理念

- 豊かな自然や歴史・文化の恵みを住民のくらしに積極的に活かしていきます
- ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします
- ひとが育ち、未来に飛躍するにぎわいのあるまちづくりを進めます

●会計別予算規模

会計名	予算額	対前年比
一般会計	289億8,000万円	△ 18.6%
国民健康保険事業特別会計	59億3,200万円	△ 8.0%
国民健康保険直営診療所事業特別会計	4億4,300万円	△ 12.4%
老人保健事業特別会計	71億8,000万円	△ 11.2%
介護保険事業特別会計	39億6,500万円	△ 7.3%
介護サービス事業特別会計	6億9,500万円	△ 11.2%
簡易水道事業特別会計	11億2,000万円	△ 11.7%
集落排水事業特別会計	3億6,600万円	△ 11.6%
公共下水道事業特別会計	28億2,800万円	△ 43.3%
浄化槽整備事業特別会計	5,640万円	△ 34.1%
土地取得事業特別会計	200万円	△ 83.3%
工業用地造成事業特別会計	3,420万円	△ 0.9%
宅地造成事業特別会計	9,250万円	△ 7.5%
峰山財産区特別会計	710万円	△ 11.3%
五箇財産区特別会計	260万円	△ 3.7%
水道事業会計	9億5,369万円	△ 30.8%
病院事業会計	67億9,558万円	△ 1.4%
総計	594億5,307万円	△ 16.1%

一般会計とは

市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や公園の整備など、さまざまな分野の仕事を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

特別会計とは

国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。

公営企業会計とは

地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うため設ける会計です。

総額で114億3,590万円の減、増減率16.1%の大幅減となっています。これは、前年度の予算に旧町分（※）が含まれていることでもあります。旧町分を除いても43億5,266万円の減、増減率6.8%の減となっていて、住民サービスに配慮しながらできるだけスリム化に努めた予算としています。

※旧町分…平成16年4月1日に合併したため、6町（一部事務組合も含みます）の平成15年度の決算は、平成16年3月31日で打ち切りました。通常であれば5月末まで、収入や支払いができる期間がありますので、各町で支払いや収入ができなかった平成15年度の経費が新市に引き継がれています。

平成17年度の主な仕事をご紹介します

1 まちづくり・行政活動

これからの京丹後市のまちづくりを計画します

■総合計画の策定【総務費】（継続・完成）670万円
（担当：企画政策部 企画推進課）

市の総合的で長期的なまちづくりの基本方針を決めるため、平成16年度から審議会をつくり、基本構想の策定に取り組んできました。

今年度は、基本構想を具体化した基本計画も策定して『京丹後市総合計画』を完成します。主に、冊子と、計画の概要をまとめたダイジェスト版を作成します。

●主な経費

- 総合計画審議会の運営費用 236万円
- 総合計画の作成費用 434万円

市の魅力を全国に発信するための冊子を作成します

■市勢要覧の作成【総務費】（継続・完成）493万円
（担当：企画政策部 秘書広報課）

市の概要や魅力を分野ごとに、写真、統計資料などを使ってわかりやすく紹介する冊子（リーフレット版）を4,000部作成します。

平成16年度から作業にとりかかり、1年を通しての写真撮影、印刷製本などを専門の業者に委託し、平成17年11月末に完成する予定です。主に、京丹後市を紹介する資料として、活用することとしています。

また、市民局の窓口での販売と市のホームページへの掲載を予定していますので、市民のみなさんもお楽しみください。

16年度と17年度の経費の合計は704万円を予定しています。

2 防災

台風23号の教訓を活かします

■冠水警報通報装置の設置【消防費】（新規）504万円
（担当：総務部 総務課）

久美浜町の平田地区と芦原地区に道路冠水警報通報装置を設置します。

河川の増水などによる道路状況を把握することにより、家屋などの浸水被害の軽減や、地域のみなさんの避難に活用することができます。

道路の冠水状況は、NTT回線を通して久美浜市民局などで把握でき、警戒水位に達すると警報をアナウンス（音声）で伝達する仕組みです。

- 市の負担額 504万円
- （そのうち市債（市の借金）500万円） ※全額過疎債

過疎債・辺地債

市の借金の種類の一つ。借金には、地方交付税で国が支援してくれるものがありますが、その中でも特に有利な借金です。ただし、決められた地域の事業にしか使えません。

借金の返済金（元金・利子）のうち、過疎債は70%、辺地債は80%が支援され、実質的な負担は少なくなります。

災害の発生に備えます

■総合防災訓練の実施【消防費】（新規）489万円
（担当：総務部 総務課）

大災害に備え、各防災機関が一体となって総合的で実践的な訓練を実施します。

また、市民のみなさんによる、避難訓練や防災活動を行って、防災意識を高めていただきます。

実施は、8月28日（日）午前7時30分からを予定しています。（詳しくは、後日お知らせします）



平成13年度に峰山町で実施した防災訓練

■地域防災計画の策定【消防費】（継続・完成）985万円
（担当：総務部 総務課）

災害時に備え、「京丹後市地域防災計画」を策定します。平成16年度から2か年の取り組みで、17年度に完成する予定です。（平成16年度予算：389万円）

平成16年度につくりました「地域防災計画案」をもとに協議と修正を行い、市の防災会議で決定します。

主に、地域防災計画と職員初動マニュアルを印刷するほか、市民のみなさんに配布します「防災マップ」を作成します。（8月下旬ごろに配布予定）

また、できあがった「地域防災計画」と「防災マップ」は、市のホームページで公開します。

京丹後市地域防災計画

風水害や地震などの大きな災害の発生に備え、災害の予防や災害が発生した場合の応急対策、復旧対策を行うため、「京丹後市防災会議」が策定するものです。

■市役所非常用発電装置の設置【総務費】（新規）1,155万円
（担当：総務部 総務課）

災害に備え、市役所（峰山庁舎）に非常用発電装置を設置します。災害などで停電しても、IP電話やパソコンなどへ電力を安定して供給することができ、情報通信手段が確保されます。緊急時における市民のみなさんからのお問い合わせにも支障なく対応できます。

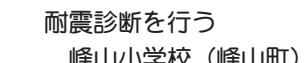
■学校施設の耐震診断【教育費】（新規）700万円
（担当：教育委員会 教育総務課）

市内には、小学校31校、中学校9校、幼稚園2園の計42校（園）の学校施設があります。

学校施設は、地震などの災害が起きた場合には、児童・生徒、地域のみなさんの避難場所としても重要な役割を担っています。

市内には、古い建築基準で建てられた学校が多いことから、順次耐震診断を行うこととしています。

平成17年度は、峰山小学校の調査を実施します。



耐震診断を行う
峰山小学校（峰山町）

耐震診断とは

大きな地震が起きた場合に、建物が安全かどうかの調査を行います。

市内の学校の約50%が、耐震診断が必要とされる昭和56年以前に建てられています。

■消防施設等の整備【消防費】（継続）7,535万円
（担当：総務部 総務課）

消防団の拠点施設や消防車庫の整備、また消防車を更新して、災害・防災体制を充実します。

●消防ポンプ自動車 3,381万円
（平成16年度予算：4,337万円）

2台（大宮町三重、丹後町間人）の消防ポンプ自動車を更新します。

●消防車庫の新築など 3,350万円
（平成16年度予算：2,695万円）

消防車庫（峰山町丹波）、消防格納庫（大宮町明田・五十河）、消防団拠点施設（丹後町竹野）の4つの施設を整備します。



平成16年度に新築した
消防車庫（網野町）



平成16年度に購入した
消防ポンプ車（峰山町）

- 国からの補助金 1,602万円
- 市の負担額 5,933万円
- （うち市債（市の借金）5,170万円）
- ※過疎債 2,510万円、辺地債 2,340万円

■防火水槽の設置【消防費】（継続）2,550万円
（担当：総務部 総務課）

火災発生時に備え、計画的に防火水槽を設置します。平成17年度は、3基を設置します。（網野町島津、弥栄町溝谷、久美浜町出角）

市が設置しますので、地元負担金は必要ありません。（平成16年度予算：2,250万円）

設置予定場所
久美浜町出角
（いづすみ）



- 国からの補助金 785万円
- 市の負担額 1,765万円
- （うち市債（市の借金）1,490万円） ※過疎債 610万円

市内の除雪力向上に努めます

■自治会への除雪機械の貸与【土木費】（新規）1,464万円
（担当：建設部 管理課）

除雪レベルの向上をめざして、従来除雪を行っていなかった狭小な市道の除雪や、歩道除雪路線の拡大に向けて、自治会へ小型の除雪機を貸し出します。そのモデル事業として、乗用・歩行の両タイプの貸し出しを市内の数地区で試行します。

3 特色ある地域づくり、地域の活性化

地域づくり、まちづくりを推進します

■地域振興交付金【総務費】（継続）1億2,233万円
（担当：企画政策部 企画推進課）

住みよい地域社会の実現に向けて、区長協議会などへ交付金を交付し、自治会活動の活性化を図ります。

- 平成17年度の交付予定額
- 峰山町峰山地区区長会・峰山町峰山区長協議会 2,606万円
- 大宮町自治会連絡協議会 2,051万円
- 網野町区長連絡協議会 2,890万円
- 丹後町区長連絡協議会 1,461万円
- 弥栄町区長協議会 1,149万円
- 久美浜区長連絡協議会 2,076万円

交付金の額は、区長協議会を構成する区の均等割額（20,000円）と世帯割額（1世帯当たり5,400円×世帯数）の合計額です。

区長協議会に交付された交付金は、さらに区長協議会を構成する区に配分され、広報紙の配布経費や地域環境の整備費、集会施設の維持管理費など、住みよい地域づくりのための経費に使われています。

■地域振興協議会の運営【総務費】（継続）425万円
（担当：企画政策部 企画推進課）

地域振興協議会は、合併により市民のみなさんのご意見が、行政に届きにくくならないようにと、合併協議で旧6町ごとに設置することが決められました。

各地域振興協議会は、18人の委員さん（男性9人、女性9人）で構成され、地域の活性化や振興策、教育などについて話し合い、まとめられた意見を市長に提言していただきます。

- 主な経費
- 協議会委員さんや研修会などの講師への謝礼金 419万円
- 協議会を運営するための事務用品など 6万円

■特色ある地域づくり補助金の創設【総務費】（新規）
1,400万円
(担当：企画政策部 企画推進課)

個別の地域要望や課題解決のために行う地区などの取り組みを支援します。

この補助金は、各地域の特色ある取り組みに対して迅速柔軟に対応するために、基本的に市民局の判断で交付の決定ができるようにしています。

●補助金の対象になる取り組み

- 地区などが所有している施設の修繕や整備の取り組み
- 地区などが行う村おこしや地域づくりの取り組み（環境・景観づくり活動、防犯・防災活動、歴史・文化活動、地域間交流活動、祭り・イベントなど）

■京丹後文化のまちづくりの推進【総務費】（新規）
300万円
(担当：企画政策部 企画推進課)

市内の各種団体や京都府丹後文化事業団、市と市教育委員会などでつくる「京丹後市文化のまちづくり実行委員会（仮称）」が行う事業に対して補助を行います。

実行委員会では、日本や西洋の芸術文化を市民のみなさんに鑑賞していただくため、京都府丹後文化会館で10月に「オペラ」、12月に「能」の公演を開催する予定にしています。

この実行委員会は、平成18年度以降も活動を続け、市民のみなさんでつくる音楽会などを開催できるような組織として発展させていきたいと考えています。



オペラ公演の風景

■まちづくり活動支援補助金【総務費】（継続）
300万円
(担当：企画政策部 企画推進課)

個性豊かで活力あふれるまちづくりを推進するため、「まちづくり」や「むらおこし」など、地域の活性化につながる活動を行うグループ・団体を育成、支援します。

◎補助対象者

市民で構成されたまちづくりを目的とするグループや団体

◎補助の対象となる取り組み

- 地域を支える人づくり、組織づくりを行うための研修活動またはイベントの実施
- 地域の活力向上、イメージアップを図るための研修活動またはイベントの実施
- 地域の歴史、文化、風習を将来に伝えることを目的とした研修活動またはイベントの実施

◎補助金額

総事業費が30万円を超える事業に対して最高30

万円を、3年間を限度に補助します。
※詳しくは、「きょうたんごおしらせ版 No.25」(4月8日発行)をご覧ください。

■地区公民館活動交付金【教育費】（拡大）2,132万円
(担当：教育委員会 社会教育課)

これまで地区公民館がなかった弥栄地域の各小学校区に、吉野地区公民館、溝谷地区公民館、黒部地区公民館、鳥取地区公民館および野間地区公民館の5館と、丹後町域の間人小学校区に間人地区公民館を本年4月から設置し、市民のみなさんへの学習機会の均衡と生涯学習の振興を図ります。市内の地区公民館は、各小学校区単位に設置することを基準としています。なお、各地区の区民運動会補助金(440万円)も含まれています。

4暮らし・福祉

市民相談の体制を強化します
■市民相談室の開設【総務費】（新規） 252万円
(担当：生活環境部 市民課)

4月1日から市民のみなさんを対象に、大宮庁舎1階(大宮町口大野)で、日常生活の中での心配ごとや悩みごとについて相談をお受けします。

一人で悩んだり、心配したり、どうしたらいいのか、どこへ行けばいいのか…。わからなくなったとき、どうぞお越してください。お話を聞かせていただき、問題解決の糸口を見つけれられるよう、相談員があなたと一緒に考えます。秘密は厳守します。

『いのちを大切にしたい』そのような思いを込めた「市民相談室」を開設します。

- ◎場所 大宮庁舎1階(大宮町口大野)
- ◎直通電話 69-0217 (内線2117)
- ◎開設日 月曜日～金曜日
(祝祭日および閉庁日は除きます)

- ◎時間 9:30～16:00
- ◎相談方法 来室いただくか、電話でもかまいません。

●主な経費
相談員賃金、研修旅費、事務費など

防犯灯倍増で安心、安全を推進します
■防犯灯設置事業の拡充【総務費】（拡大） 550万円
(担当：生活環境部 市民課)

安心、安全なまちづくりを推進するため、市内各所に防犯灯を設置します。

また、自治会が設置する防犯灯に対して補助します。

- 防犯灯の設置事業の拡充(倍増)
- ▼集落外の防犯灯は市が設置します 150万円
(平成16年度予算：100万円)
- ▼集落内の防犯灯は区が設置し、予算の範囲内で設置費の全額を補助します。 400万円
(平成16年度予算：200万円)

し尿のくみ取りが便利になります
■し尿収集業務の制度拡充【衛生費】（新規） 653万円
(担当：生活環境部 環境推進課)

現在のハガキやファクシミリによるお申し込みのほか、「計画収集」を導入します。また、収集手数料の支払い方法については、チケットによる支払いに加え、口座引き落としがご利用いただけるようになります。

なお、新たに導入する計画収集と口座引き落としは希望者の申し込みが必要です。

今年の秋ごろを目途にご利用いただけるように準備を進めています。申込方法など詳しくは、後日あらためてお知らせします。

●主な経費
口座引き落としを導入するためのシステム変更など

計画収集
一定期間ごとに収集にお伺いします。
最初に希望する収集期日を申請して登録しておけば、その後のお申し込みは必要ありません。

口座引き落とし
希望する口座から、かかった料金を自動引き落とします。
すでに、市税や水道料、保険料などの支払方法としてご利用いただいています。

子育てを支援します
■放課後児童健全育成事業の拡充【民生費】（一部新規） 2,940万円
(担当：保健福祉部 子育て支援課)

●放課後児童クラブ
帰宅しても保護者が仕事などで家庭にいない小学校1年生から3年生までの児童を対象に、『放課後児童クラブ』を開設します。

学校のある日(月～金曜日)は授業が終わってから午後6時、夏休みや冬休みなど長期の休み(月～金曜日)は、午前8時30分から午後6時です。利用料は、月額6,000円。

子どもたちは、指導員などのもとで、ルールを守りながら、遊びのなかで協調性を養います。

峰山、大宮、網野で既に開設していましたが、平成17年度から新たに、久美浜と丹後で開設する予定で、できるだけ多くのかたに利用していただきたいと考えています。

- 開設場所
 - 峰山放課後児童クラブ 峰山織物センター内
 - 大宮放課後児童クラブ 大宮福祉会館内
 - 網野放課後児童クラブ 網野体育センター内
 - 久美浜放課後児童クラブ 旧海部保育園
 - 丹後放課後児童クラブ 丹後庁舎内
- | | |
|---------|---------|
| 国からの補助金 | 233万円 |
| 府からの補助金 | 77万円 |
| 市の負担額 | 2,062万円 |
| 利用料 | 568万円 |

■児童医療給付費【民生費】（継続） 9,044万円
(担当：生活環境部 医療保険課)

児童の健やかな育成を願い、平成16年10月から児童医療費の助成を行っています。(京丹後市独自の制度です)

小学生のお子さんが、医療機関で受診されたときに保護者のかたが負担される費用の一部を助成します。

医療機関の窓口で、請求されたお金をいったん支払っていただきますが、みなさんからの申請により支払われた額の一部を助成します。助成を受ければ自己負担は、1か月200円となります。

○児童また保護者ともに、市内に住所があるかたが対象です。

○母子・父子医療、障害者医療などの福祉医療、生活保護などの適用を受け、医療費の負担がない場合は、対象となりません。

○健康診査料、薬の容器代、診断書料などの保険の対象とならないものや、交通事故などの第三者行為、学校での授業などによる負傷の場合は、助成の対象とはなりません。

○申請から約3か月後、指定口座に振り込みます。(診療内容などによっては3か月以上かかる場合があります)

子どもたちの健やかな発達を支援します
■児童発達支援パイロット事業【民生費】（新規） 9万円
(担当：保健福祉部 子育て支援課)

幼児期の健やかな発達を支援するため、心身の発達に有効と考えられる先進的な取り組みの研究や実践が、市内の保育所などでモデル的に実施できないかなどを検討します。

男女共同参画社会の実現をめざします
■男女共同参画計画の策定【民生費】（継続） 463万円
(担当：生活環境部 市民課)

家庭や学校、地域、職場などあらゆる場において、男女がお互いを大切に、支え合うことにより、その個性と能力を十分に発揮でき、一人ひとりがいきいきと活躍できる社会の実現を目指して取り組みます。

平成17年度には、男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的、計画的に推進するため、「男女共同参画計画」を策定します。

また、「京丹後市男女共同参画審議会」を設置し、市民のみなさんの意見を反映させた地域の実情に即した効果的な計画づくりを目指します。

●主な経費
審議会の委員さんへの報酬、計画づくりを業者に委託する経費

障害者の生活安定のために

■障害者福祉計画の策定【民生費】（新規）336万円
（担当：保健福祉部 障害者福祉課）

障害者保健福祉に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的とした「京丹後市障害者保健福祉計画」策定の基礎資料とするため、障害のあるかたに対して、日常生活の実態や福祉サービスの利用状況などの調査を行います。

- 調査対象者 身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を持っておられる在宅の障害児（者）のかた（約4千人）
- 調査の方法 対象者全員に調査票を郵送・回収して、調査票の集計・分析を行います。（ただし、一部のかたには、聞き取り調査も行います）
- 調査実施時期 4月～5月上旬の予定

■精神障害者地域生活支援センター整備支援【民生費】（継続）4,840万円
（担当：保健福祉部 障害者福祉課）

精神障害者のかたの生活支援の中核として、丹後2市4町で初めてとなる、精神障害者社会復帰施設「京丹後障害者地域生活支援センター（仮称）」の建設整備を進める「社会福祉法人みねやま福祉会」に対して建設事業費の一部を補助します。

- 支援センターの概要
 - 建設場所 峰山町新町地内
 - 建物構造 鉄骨造平屋建て
 - 建築面積 449.22㎡
 - 施設内容 相談室、談話室、地域交流活動室など
 - 竣工予定 平成17年8月末
 - 業務開始予定 平成17年10月
 - 利用方法 登録制

5 産 業

■環境保全型農業普及・実証プロジェクト【農林水産業費】（新規）304万円
（担当：農林部 農業振興課）

環境に配慮した農業生産を実現するための取り組みをします。（平成17年度～平成21年度）

- 環境保全に配慮して、農業を正しく使用していただくために農家のみなさんに啓蒙普及します。
 - 環境保全に配慮して、農業を正しく使用していただくために農家のみなさんに啓蒙普及します。
 - 土壌の消毒などに使う農薬の基本的な指針の策定や、「農薬使用の手引き」をつくります。
 - 堆肥などを使った有機栽培の実践と普及をします。
 - 優良堆肥の開発やその堆肥を使った栽培の実証実験をします。

優良堆肥の生産のために、すでに「有機再生肥料利活用協議会」をたちあげており、有機堆肥を使用する人の立場から満足できる品質の堆肥を生産するための研究・開発体制を整えています。今後、このプロジェクトの実施により、減農薬、減化学肥料によ

る新しい農法の開発を進めていきます。

■茶生産振興対策事業【農林水産業費】（継続）2,222万円
（担当：農林部 農業振興課）

国営開発農地の新しい栽培作物として、お茶の栽培の導入を進めています。平成16年度から3年間の計画で、和束町の農事組合法人「百姓王国」が20畝を目標に取り組んでいます。



平成16年度に久美浜町永留6団地で栽培されたお茶。雪にも台風にも負けず、元気に育っています。

主に、栽培農地の用水・排水設備や土壌の改良、苗木の購入をします。

現在、地元の生産者を育成するため、栽培研究会による研修会などを行っています。

国・府からの補助金	1,882万円
市の負担額	340万円

■パイプハウスの設置支援【農林水産業費】（継続）6,799万円
（担当：農林部 農業振興課）

農業の産地化や農家のみなさんの収入増加を目的に、京野菜や花を栽培するためのパイプハウスを設置する費用を京都府と市が補助します。



平成16年度に峰山町に設置したパイプハウス

対象となるのは、団体に限り、個人でのお申し込みはできませんので、農協の「京丹後市京野菜施設園芸部会」などに加入する必要があります。

- 平成17年度の設置予定（平成16年度予算：90棟で7,760万円）

○京丹後市京野菜施設園芸部会	45棟
○網野花き生産組合（暖房機含む）	30棟
府からの補助金	5,613万円
市の負担額	1,186万円

京野菜とは、いにしえからの京都の伝統野菜で、みず菜、九条ねぎ、賀茂なす、万願寺とうがらし、えびいも、堀川ごぼうなど43品目。京丹後市では、みず菜、九条ねぎ、聖護院だいこんなどが栽培されています。

水産業

■地域水産物供給基盤整備事業【農林水産業費】（継続）1億1,003万円
（担当：商工観光水産部 水産課）

- ◎事業期間 平成14年度～平成23年度 ※今年度で4年目です。
- ◎全体事業費 10億6,500万円
- ◎場所 網野町 浜詰漁港
- ◎今年の内容 海が荒れていても生簀（いけす）から魚が捕れ、新鮮な魚が食卓へ届けられるよう、また漁業者が安心して漁船が係留できるように、防波堤を建設します。漁獲の安定を図るため魚礁を沈設し、周辺の天然岩礁と一体となる漁場を造成します。



鋼製魚礁

国や府からの補助金	7,633万円
漁協などの負担額	19万円
市の負担額	3,351万円
（うち市債（市の借金）	3,000万円）

商工業

■金融・経済研究会の設置【商工費】（継続）64万円
（担当：商工観光水産部 商工振興課）

平成16年10月に、地元経済界や金融機関などの関係団体の代表により構成する研究会を設置して、金融面を中心とした市内の企業の育成や起業のための支援策について検討しています。

平成17年度では、さらに、経営拡大・新商品開発・新規創業を行う事業者に対する支援策や市内の業種ごとのネットワークづくりについて研究していき、市の施策に反映させます。

■経営支援金融事業【商工費】（継続）7,086万円
（担当：商工観光水産部 商工振興課）

市内の商工業者などが借り入れた事業資金にかかる信用保証料や利子の一部を補助します。市内の商工業者などの負担軽減に役立ち、経営の安定や事業の発展につながります。

- 経営安定利子補給金 4,269万円
- 市内の商工業者が、京都府制度融資、政府系融資、京丹後市商工業振興融資に基づく融資を受けて、その融資に対して支払った利子の一部を補助します。
- 信用保証料補助金 2,817万円
- 市内の商工業者が、京都府制度融資、京丹後市商工業振興融資に基づく融資を受けて、借り入れたときに京都信用保証協会に支払った保証料の一部を補助します。

■農村振興総合整備事業【農林水産業費】（継続）3億7,875万円
（担当：農林部 農村整備課）

大宮町河辺地区で、ほ場整備を行います。（全体計画：平成16年度～平成21年度、総事業費7億3,000万円、約31.3%）



ほ場整備が計画されている大宮町河辺西部地区

これまでの小さな田んぼや、狭い農道を整備することで、大型機械が使えるようになり、農作業の効率や生産性が高まります。

また、ほ場整備にあわせて、地区内の一部に公共用地を確保して、住みよい地域づくりをすすめます。

国や府からの補助金	9,825万円
農家の負担額	2,100万円
換地清算するためのお金	2億2,725万円
市の負担額	3,225万円
（うち市債（市の借金）	2,300万円）

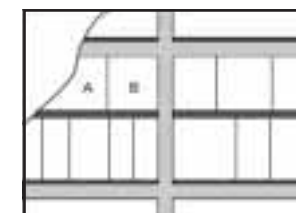
ほ場整備

日本の国土は狭くて山がちのため、農地区画は一つひとつが小さく、不整形となっていることが多いため、ほ場整備により農地の区画を整形することによって、効率よく生産性が高い農地をつくりあげるものです。



農地の形状が不整形で、道路が狭く、田んぼに入っていく道がないところもあります。さらに、用水路と排水路が、しっかり整備されていません。これでは、農作業の効率が上がりません。

- ほ場整備施工
 - ・区画整形
 - ・用排水路整備
 - ・農道整備など



農地の形状がきれいに整形されています。農地すべてに広い道路がつけられ、用水路と排水路が、しっかり整備されています。これなら効率よく農作業ができます。

■きものサミットの開催【商工費】(新規) 1,000万円
(担当: 商工観光水産部 商工振興課)

●きものサミット in 京丹後
ライフスタイルの変化などにより「きもの」着用人口の減少が和装業界の衰退原因となっています。



平成16年度
「きものサミット in 京都・西陣」

こうした中、平成8年に京都商工会議所の提案により、和装産地の生産者から小売業者まで一体となり、着物のすばらしさを再認識し、広く国民に訴える場として企画されたもので、全国の和装産地で開催されています。

「着用機会の創出」、「新商品の開発」などについて話し合い、具体的な行動計画を全国に向けて提案して和装産業の振興を図ります。

◎会場 メイン会場: 京都府丹後文化会館
サブ会場: 丹後あじわいの郷 アミティ丹後 峰山総合福祉センター

◎開催日 10月29日(土)~30日(日)

◎内容(概) きものサミット、きものチャレンジ事業、京都きものコレクション、きものパーティー

◎関連行事 きもの祭(丹後あじわいの郷)、ふる里ジャンジャン祭(既存イベントの同日開催)

◎全体経費 2,000万円
※きものサミット実行委員会が行います。

市の補助金	1,000万円
府からの補助金	100万円
京都商工会議所からの補助金	100万円
丹後織物工業組合などの負担額	800万円

96年、京都商工会議所が音頭をとりスタートしたもので、全国の和装産地および商工会議所などが、持ち回りで開催を重ねてきました。今回で9回目の開催となります。

■きもの祭の開催支援【商工費】(継続) 350万円
(担当: 商工観光水産部 商工振興課)

きものサミットの関連事業という位置づけで市内6町の商工会が連携して取り組み、市が支援します。あじわいの郷をメイン会場に「京丹後市きもの日創設事業」として開催します。

平成18年度以降も、きものを着る機会を増やすため「京丹後市きもの祭(仮称)」を引き続き行う予定です。

◎開催日 10月29日(土)~30日(日)

■丹後ブランドパイロット事業【商工費】(継続) 759万円
(担当: 商工観光水産部 丹後の魅力発信拠点整備推進室)

丹後の情報・魅力の発信と都市との交流の推進を図るため、優れた地場産品をブランド化し、それを広く全国に紹介するインターネット上のショッピングモール『京の丹後屋』を運営し、市場調査および効果的な施策などの検討を行う事業です。



ショッピングモール「京の丹後屋」のイメージです。オープンは、平成17年4月下旬を予定しています。

この事業の運営は、公募による市内事業者で構成します「丹後ブランド研究会」が主体となって行います。(平成16年度予算は、丹後ブランドパイロット事業の管理運営システム構築費用として、284万円でした)

6 観 光

観光資源の有効活用によりにぎわいを創出します

■温泉施設活性化・薬草利活用の検討【商工費】(新規) 85万円
(担当: 商工観光水産部 観光振興課)

市内の温泉施設のさらなる有効活用や健康産業との連携を図るために、薬湯や薬膳料理などの調査研究を行います。



■観光活性化事業【商工費】(新規) 83万円
(担当: 商工観光水産部 観光振興課)

旅館・民宿や観光関連のお仕事をされている女性(女将さんなど)を対象に、「おもてなしの心と技」のスキルアップ講座を行います。新たな観光産業の展開を図るための取り組みです。募集定員は、30人で、8月下旬~10月にかけて、10回程度の講座を開催する予定です。



受講料	15万円
市の負担額	68万円

スキルアップ…
能力向上のこと

7 環 境

地球温暖化の防止に努めます

■エコドライブの普及促進【衛生費】(継続) 160万円
(担当: 生活環境部 環境推進課)

市役所はもちろんですが、市内の会社や市民のみなさんに燃費のいい運転を習得していただき、現在乗っている自動車から温室効果ガスを少しでも出さないようにするための取り組みです。



エコドライブ支援車載機
燃費の悪い運転をしたときに「急発進です!」、「速度オーバーです!」といった警告を出して燃費のよい運転にドライバーを誘導します。

エコドライブ支援車載機の無料貸し出しを平成16年度から取り組んでいます。

●主な経費
車載機の設定を変更するための手数料 160万円

温室効果ガス

二酸化炭素に代表される物質で、太陽からの熱をつかまえて、温室のように地球を暖める性質があります。地球の気温を生物が生きるために適した温度に保つためになくてはならないものですが、産業革命以降の石炭や石油の利用によって排出量が増え続け、特に20世紀に入ってから急増したため、地球の平均気温を上昇させる原因となっています。

■うみかぜ風力エネルギー普及モデル事業【衛生費】(新規) 1,213万円
(担当: 生活環境部 環境推進課)

地球温暖化防止対策の一環で、自然エネルギー普及のモデル事業として、丹後町地域を中心に風力発電施設を整備します。

また、市民主体の組織「地球温暖化対策地域協議会」を設立して、温暖化防止の学習会や活動を展開します。

●地球温暖化対策地域協議会が設置する風力発電施設の費用の一部を補助します。 160万円

小型の風力発電施設 5基分

●市が風力発電施設を整備します。 1,050万円
中型の風力発電施設 1基

国からの補助金	500万円
府からの補助金	200万円
市の負担額	513万円

(うち市債(市の借金) 350万円) ※全額過疎債

各町観光協会を統合する準備をします

■丹後観光協会連絡協議会の設立【商工費】(新規) 1,000万円
(担当: 商工観光水産部 観光振興課)

市内の6つの観光協会が統合に向けて「丹後観光協会連絡協議会」を設立し、統一した観光ポスターやホームページによる予約システムづくりや、観光案内直通電話の開設などを行います。丹後観光協会連絡協議会に対する補助金です。

あじわいの郷を中心とした観光ルートをつくります

■丹後周遊ボンネットバスの運行【商工費】(新規) 150万円
(担当: 商工観光水産部 観光振興課)

丹後あじわいの郷を中心に、市内の観光施設や温泉、美しい自然、歴史的遺産や伝説などを巡る各種コースを設定し、昔懐かしいボンネットバスを運行します。



月2回(基本的に第2金曜日と第2日曜日、予約制)

静御前ゆかりの地を整備します

■静御前関連観光施設の整備【商工費】(継続) 5,386万円
(担当: 商工観光水産部 観光振興課)

現在、放映中のNHK大河ドラマ「義経」で、ドラマのヒロインである静御前のゆかりの地、京丹後市網野町磯の『静神社』の周辺を整備して、観光客の増加につなげます。

平成16年度から周辺整備に取り組み、照明工事、静御前レリーフの設置、駐車場整備、仮設トイレの設置などを行いました。

平成17年度は、展望台、遊歩道、常設のトイレなどを整備します。

市の負担額	5,386万円
(うち市債(市の借金)	5,350万円) ※全額地債



バイオガス発電に取り組みます

■京都エコエネルギープロジェクト・新エネルギーなど地域集中実証研究【衛生費】(継続) 215万円
(担当:生活環境部 環境推進課)

太陽光発電・風力発電・バイオガス発電を組み合わせ、地域分散型の電力供給システムの実証研究を、京都エコエネルギープロジェクト(京都府と市、5つの企業でつくるグループ)が、NEDOからの委託を受けて平成15年度から取り組んでいます。

太陽光発電・風力発電・バイオガス発電の各施設が今年の秋ごろに完成して、本格的な実証研究がスタートする予定で、市では事業の紹介や環境学習をすすめていきます。

●主な経費

事業紹介や環境学習用のビデオ・パンフレット作成費	140万円
実証研究スタート記念式典費用	30万円
登録研究員(職員)旅費	45万円
NEDOからの委託金	45万円
市の負担額	170万円

地域分散型電力供給システム

家庭や施設の電力を電力会社からだけでなく、地域に分散して設置される自然エネルギー(太陽光、風力、バイオガス)などを利用した小規模の発電施設により補完する電力供給のしくみ。

NEDO
(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
日本の産業技術・エネルギー・環境技術など民間企業だけでは出来ない研究開発を産業界、大学、公的研究機関と一緒に公的資金を活用してすすめる団体です。

8 教育・文化財

国際的な視野を育てます

■国際交流事業【総務費】(新規) 409万円
(担当:企画政策部 企画推進課)

平成17年6月から約10か月間、中国の自治体職員(1人)が市役所に来ます。

主に、日本の地方自治体の仕事について研修したり、中国との交流に関する仕事をします。

そのほか、市民のみなさんを対象とした、中国語教室や文化交流会などを計画していますので、ぜひご参加ください。

自治体職員協力交流事業とは

海外の地方自治体等の職員を日本の自治体に受け入れ、地方自治体のノウハウ、技術の習得を図るとともに、受入自治体の国際化施策等への協力を通じて地域の国際化を推進することを目的としています。

■「青少年の翼」事業【教育費】(新規) 321万円
(担当:教育委員会 社会教育課)

市内の中学生20人を対象に、5泊6日の日程で海外研修を行います。平成17年度は、中国を予定しています。

現地の中学生やホストファミリーとの交流や、体験活動などの研修を通じて幅広い視野を養ってもらい、国際的な視点で活躍できる人材を育成します。

●主な経費
訪問団の旅費を補助します 226万円
※参加者には、旅費の半額を負担していただきます。

■外国語指導助手の招致【教育費】(継続) 3,294万円
(担当:教育委員会 教育総務課)

アメリカ・イギリス・ニュージーランドから、現在7人(2学期からは6人)の外国語指導助手を招致し、市内の9中学校で英語授業補助として、生きた英語の指導を行っています。

また、市内の31小学校を巡回し、英語によるコミュニケーションを通じて国際理解を深める学習の場を持っています。

●主な経費

報酬、社会保険料などの人件費	2,699万円
(平成16年度予算:2,917万円)	
研修や帰国のための旅費	289万円
(平成16年度予算も同額)	
外国語指導助手用アパートの準備費用、備品の購入費や修繕費など	154万円
(平成16年度予算:102万円)	
自治体国際化協会負担金(会費、傷害保険、渡航費用として)	152万円
(平成16年度予算:184万円)	



小学校での総合学習の授業風景

遺跡の調査に取り組みます

■赤坂今井墳丘墓発掘調査【教育費】(新規) 2,200万円
(担当:教育委員会 文化財保護課)

峰山町にある弥生時代の国内で最大級規模(東西36m×南北39m)を誇る赤坂今井墳丘墓の発掘調査を行います。

墓の主が眠るとされる「第1埋葬部」を発掘して、遺跡の内容を調査し、当時の丹後を支配した王の姿を明らかにしようとするものです。

これまでの調査で、この遺跡からは漢青(ハンプルー)という、古代の中国で使用された顔料を含んだガラス製勾玉(まがたま)などでつくられた豪華な「頭飾り」が出土しています。調査は、専門機関に依頼する予定です。



すでに発掘した「第4埋葬部」



出土した「頭飾り」

市史の編さんに着手します

■市史編さん事業【教育費】(新規) 118万円
(担当:教育委員会 文化財保護課)

京丹后市史の編さんに必要な基礎資料を得るために、市内の各種文化財を調査します。また、編さん作業については、大学の先生などと協力して行う予定です。

●主な経費
歴史資料の収集や整理をする作業員さんなどへの謝礼金 75万円
市史編さん委員会などの委員さんへの謝礼金 22万円

編さん…さまざまな材料を集めて整理し、書物をつくりあげること

9 生活基盤の整備

安全、快適なまちづくりを推進します

■道路の改良など【土木費】(継続) 5億8,963万円
(担当:建設部 土木課)

- 道路の新設改良(22路線) 2億7,475万円
 - 峰山町 上地下古川線、橋詰井子ノ上線、大門2号線、堂岬深田線
 - 大宮町 周枳三坂線、小杉線、中ノ井根線
 - 網野町 北大路地区排水路、丹谷線、夕日港線、大正通線、郷新田岡線、北大路丹治山線、桃山奥山線、栗脇ヤナグラ線、岡線、越水線、網野地区町並み環境整備
 - 弥栄町 河ノ辺線、布袋野河上三神社線、溝谷黒部線
 - 丹後町 小泊東海岸線

交通の円滑化と災害・事故などを未然に防ぐため、計画的に改良事業を実施します。

平成16年度に実施した市道森本下4号線道路改良事業(大宮町)



着工前



完成

○辺地対策道路の整備(1路線)【森本延利線(大宮町)】 2,080万円

辺地地域の地域間格差を是正するため、道路の改良事業を実施します。今年度を実施する場所は、安全な通学路と円滑な通行を確保するものです。



市道森本延利線

○過疎対策道路の整備(9路線) 1億3,804万円【細田峠谷線(丹後町)、高嶋線(丹後町)、蒲井旭線(久美浜町)、神崎南浜線(久美浜町)、湊宮線(久美浜町)、油池区内線(久美浜町)ほか]



過疎地域の地域間格差を是正するため、道路の改良事業を実施します。

市道蒲井旭線

○地方道路整備臨時交付金事業(1路線)【葛野箱石線(久美浜町)】 9,202万円

スムーズな道路交通を確保し、観光振興・産業を発展させるため道路を整備します。



市道葛野箱石線

○交通安全施設など整備事業(1路線)【呉服二箇前川原線(峰山町)】 6,402万円

交通環境の改善を行い、児童や生徒の交通事故の防止や交通の円滑化を図ります。



市道呉服二箇前川原線

国からの補助金 8,415万円
市の負担額 5億 548万円
(うち市債(市の借金)4億8,620万円)
※過疎債1億7,940万円 辺地債2,080万円

久美浜湾周辺市街地の活性化に取り組みます

■アメニティ久美浜整備事業【土木費】（継続）
1億4,950万円
（担当：建設部 土木課）

アメニティ久美浜の緑地公園や浜公園との連絡橋を整備します。



整備中のアメニティ久美浜

市の負担額 1億4,950万円
（うち市債（市の借金） 1億4,950万円）
※全額過疎債

都市計画区域を整備します

■都市計画マスタープランの策定【土木費】（継続）
1,310万円
（担当：建設部 都市計画・建築住宅課）

平成16年度の「基礎調査」を手始めに、平成19年度完了予定で、「都市計画マスタープラン」（都市計画に関する基本的な方針）の策定を行うこととしています。

平成17年度は、基礎調査の続きと分析、アンケートの実施、まちづくり懇談会（仮称）の開催などを予定しています。

※詳しくは、広報紙「きょうたんの都市計画（第2号）」をご覧ください。

なお、都市計画について市民のみなさんのご理解をいただくため、平成17年度も引き続き「きょうたんの都市計画」を発行します。

■八丁浜シーサイドパーク整備事業【土木費】（継続）
1億500万円
（担当：建設部 都市計画・建築住宅課）

平成元年度から網野町浅茂川・小浜地区において、市民のみなさんが気軽に海と親しめる公園を目指し、「八丁浜シーサイドパーク」を整備しています。

平成17年度は、管理棟や多目的芝生広場の一部、排水路を整備します。

国からの補助金 5,000万円
市の負担額 5,500万円
（うち市債（市の借金） 4,500万円）



整備中の八丁浜シーサイドパーク

■街なみ環境整備事業【土木費】（継続）6,685万円
（担当：建設部 都市計画・建築住宅課）

久美浜一区の一部地域で、伝統的な街なみの保存と生活基盤施設の整備を行い、ゆとりと潤いのある住宅地づくりをします。（全体計画：平成16年度～平成25年度、総事業費約9億円）

●主な経費
協議会活動助成（久美浜一区まちづくり協議会への活動補助金） 50万円
街なみ整備（ポケットパーク、消防車庫の解体、歩道・橋りょう修景） 4,820万円
道路美化のための測量設計委託費 1,300万円
街なみ整備助成（修景施設整備に対する補助金） 400万円

国からの補助金 2,667万円
市の負担額 4,018万円
（うち市債（市の借金） 3,760万円）※全額過疎債

修景とは、街なみの歴史的景観に調和するよう、家屋やその他の工作物の外観を伝統的建築様式に合わせながら新築・増築・改築・改修することをいいます。



伝統的な外観で新築された消防車庫（久美浜町）

良好な住環境の整備に努めます

■市営住宅松岡団地の建替【土木費】（継続）
1億345万円
（担当：建設部 都市計画・建築住宅課）

網野町下岡にある市営住宅松岡団地を建て替えます。昭和39年に建てられた古い住宅の建て替えと周辺の整備を平成16年度から取り組んでいます。

平成17年度は、集会所の建設、公園の整備などを予定しています。全体では、古くなった住宅（15戸）の建て替えと新規住宅（5戸）を建設します。また、集会所や公園、分譲宅地、道路などの整備を計画しています。

（平成16年度～平成20年度、総事業費6億9,745万円）



完成予想図（市営住宅松岡団地）

水質を保全し、快適な生活環境を実現します

■公共下水道事業特別会計（継続）
（担当：上下水道部 下水道課）

自然環境を守ったり、快適な生活環境をつくるために下水道の整備に取り組みます。

○公共下水道の整備
終末処理場設計委託費（峰山、網野処理場） 1億 800万円
峰山地域の管きょ布設工事ほか 3億8,600万円
○特定環境保全公共下水道の整備
終末処理場設計委託費（丹後、久美浜処理区） 2,000万円
終末処理場の建設のための土地購入（久美浜処理区） 941万円
ポンプ場設計委託費（久美浜処理区） 2億 900万円
大宮、網野、久美浜、丹後地域の管きょ布設工事ほか 8億5,950万円

公共下水道事業は、特別会計という独立した会計で管理、運営しています。集落排水事業や浄化槽整備事業など、その他の下水道に関係した仕事についても特別会計で行っています。



安心できる水供給のために

■簡易水道事業特別会計（継続） 4億4,087万円
（担当：上下水道部 水道課）

●簡易水道の統合整備
宇川簡易水道・竹野簡易水道（丹後町域）
宇川簡易水道と竹野簡易水道はそれぞれに隣接する簡易水道を統合して広域化します。新たに給水人口や給水量を見直して老朽化した浄水場、配水池および水道管を抜本的に整備して将来にわたり安定した給水を行います。完成年度は、竹野簡易水道は平成19年度、宇川簡易水道は平成20年度の予定です。

●配水管の布設
神野簡易水道（久美浜町域）
国道178号（神野バイパス）は、水道管が整備されていませんので、平成17年度から2年間の計画で布設します。
久美浜簡易水道（久美浜町域）
久美浜町十楽地区で下水道工事にあわせて効率的に石綿管を塩ビ管に更新します。

水道事業は、給水人口により上水道と簡易水道にわけられています。上水道は給水人口5,001人以上で、簡易水道は101人以上5,000人以下としています。



■水道事業会計（継続） 1億9,475万円
（担当：上下水道部 水道課）

●京丹后市水道事業認可申請
市の上水道は、峰山、大宮、網野、丹後の4つの給水区域にわかれています。将来にわたり安定して給水できるように連絡管を接続して1つの給水区域に統合する計画を厚生労働省に申請します。

●各浄水場施設の改良
峰山町中野浄水場のほか各施設に薬品自動注入設備、テレメーター、濁度計および残塩計などを設置して水質管理を徹底して、事故を未然に防ぎ安定給水に努めます。

●老朽管の整備
峰山、大宮地内において下水道工事にあわせて効率的に老朽管や石綿管を更新します。

10 災害復旧

台風23号などで被災した箇所の早期復旧をめざします
■農林水産業施設災害復旧事業【災害復旧費】（継続）
 1億3,512万円
 (担当：農林部 農村整備課ほか)

昨年の台風21号や23号で被災した農林水産業施設の災害復旧工事を実施します。

国や府からの補助金 5,789万円
 農家などの負担額 643万円
 市の負担額 7,080万円
 (うち市債(市の借金) 3,080万円)



台風23号により
崩れ落ちた農道
橋(久美浜町)

■公共土木施設災害復旧事業【災害復旧費】（継続）
 9,770万円
 (担当：建設部 土木課)

昨年の台風21号や23号で被災した公共土木施設の災害復旧工事を実施します。



道路災害



河川災害

橋りょう災害

国の負担金 5,600万円
 市の負担額 4,170万円
 (うち市債(市の借金) 2,520万円)

11 市の借金(市債)

■借金の返済金(元金、利子)【公債費】（継続）
 74億2,300万円(うち、一般会計分53億2,227万円)
 (担当：総務部 財政課ほか)

道路や公園、学校などの整備をするために、国や銀行などから借りたお金の元金と利子を返済します。

一般会計のほか、簡易水道や下水道、病院、水道などの借金もそれぞれの会計で返済しています。

※平成17年度は、平成16年度までに借りたお金を返済します。(平成16年度末での会計ごとの借金の残金については、「グラフでみるきょうたんご 京丹後市の市債(借金)と基金(貯金)の状況」をご覧ください)

会計ごとの平成17年度中の借金返済金(元金と利子)

	元金	利子	合計
一 般	43億9,808万円	9億2,419万円	53億2,227万円
国 保 直 診	1,412万円	226万円	1,638万円
介護サービス	4,446万円	2,454万円	6,900万円
簡 易 水 道	1億7,517万円	1億4,235万円	3億1,752万円
集 落 排 水	1億2,277万円	9,015万円	2億1,292万円
公 共 下 水 道	4億5,661万円	2億7,187万円	7億2,848万円
浄化槽整備		61万円	61万円
宅 地 造 成	1,199万円	108万円	1,307万円
水 道	1億5,806万円	9,829万円	2億5,635万円
病 院	3億2,606万円	1億6,034万円	4億8,640万円
合 計	57億 732万円	17億1,568万円	74億2,300万円

なお、平成17年度事業を行うために新たに借りる予定をしている金額は、次のとおりです。

一般会計(道路や公園、市営住宅などの整備に使います) 31億5,180万円
 ※うち刃地債1億2,510万円、過疎債5億2,150万円
 簡易水道事業特別会計(配水管の布設工事などに使います) 3億1,900万円
 公共下水道事業特別会計(管きよの布設工事などに使います) 9億3,670万円
 浄化槽整備事業特別会計(浄化槽やメーターの設置工事などに使います) 2,110万円
 水道事業会計(浄水場の設備工事や配水管の布設工事などに使います) 8,800万円
 病院事業会計(建物設備や医療機器の整備などに使います) 3,320万円

●すべての事業の中から、主な事業についてご紹介しましたが、そのほかにも次のような事業も実施します。

事業名	区分	主な内容	平成17年度 予算額	担 当
まちづくり・行政活動	網野庁舎の改修	新規 老朽化している網野庁舎の改修を行います	1,150万円	網野市民局 地域総務課
	行財政改革の推進経費	継続 引き続き、行財政改革の推進に努めます	146万円	企画政策部 行財政改革推進室
	国勢調査経費	新規 5年に一度の全国一斉の統計調査を行います	2,827万円	企画政策部 企画推進課
防災	高規格救急車の導入	新規 市民のみなさんの生命を守るため、高規格救急車を更新します(峰山消防署の本署)	3,200万円	消防本部 総務課
特色ある地域づくり、地域の活性化	集会施設の建設	継続 活発な自治活動を推進するため、集会施設の建設を行います	3,019万円	企画政策部 企画推進課
	地域振興基金積立金	継続 市民のみなさんの連帯強化および均衡ある地域振興を図るため、合併特例債を活用して基金を積み立てます	3億円	総務部 財政課
暮らし・福祉	くらしの資金貸付事業	継続 生活の不安定な低所得世帯に対し、くらしの資金をお貸しします	460万円	保健福祉部 生活福祉課
	地域再建被災者住宅等支援補助金	継続 台風23号により被災した住宅などの復旧支援を図ります(平成16年度からの継続)	9,585万円	保健福祉部 生活福祉課
	総合検診事業	継続 基本健康診査、がん検診などを一度に検診できる総合検診を実施し早期発見・予防対策に努めます	1億2,139万円	保健福祉部 健康推進課
	医療対策審議会などの経費	継続 京丹後市の医療体制のあり方などについて、審議会での調査や研究をします	663万円	医療事業部 地域医療課
	斎場建設計画の推進	新規 新しい火葬場の建設について検討します	35万円	生活環境部 環境推進課
産業	農業振興地域整備計画再編事業	継続 農用地などを保全し計画的な農地利用を図るため、農業振興地域整備計画を策定します	711万円	農林部 農業振興課
	認定農業者支援事業	新規 農業の基幹的役割を担っている認定農業者の地域活動、規模拡大、新規事業などへの取り組みを支援します	177万円	農林部 農業振興課
	京野菜こだわり産地支援事業	新規 国営農地での果樹生産の基盤づくりを推進します(平成17年度~平成18年度 黒部団地・井辺団地)	191万円	農林部 農業振興課
	農村環境計画の策定	新規 環境に配慮した農業農村整備事業実施のマスタープランとなる「農村環境計画」を策定します	699万円	農林部 農村整備課
	畜産施設設置事業	継続 地域環境の改善を図るため、汚水処理施設を設置するとともに畜産事業者を支援します	300万円	農林部 農業振興課
	有害鳥獣防除対策事業	継続 いのししなどからの農作物被害を防ぐため、駆除および防除施設を設置します	2,512万円	農林部 林業振興課
	丹後縦貫林道整備事業	拡大 丹後半島の交通網のネットワーク化を促進し、林業振興・地域活性化を図ります	3,378万円	農林部 林業振興課
	小規模漁港改良事業	新規 磯漁港(網野町)の防波堤の高上げを行い、漁港内の波の安定化を図ります	1,400万円	商工観光水産部 水産課
	漁港漁場機能高度化事業	継続 竹野漁港(丹後町)の防砂堤の新設改良を行い、泊地の埋設防止を図ります	2,602万円	商工観光水産部 水産課
	観光	観光協会への補助金	継続 各町観光協会の組織強化と観光事業に対して補助金を交付し、観光産業の振興と発展を図ります	2,890万円
観光サイン(案内板、標識)の整備		継続 デザインを一新した観光サインを計画的に更新します	1,000万円	商工観光水産部 観光振興課
丹後あじわいの郷入園パスポートの発行		新規 市民に親しまれる公園とするため、市民のみなさんに入園パスポートを配布します(事業主体:京都府)	49万円	商工観光水産部 観光振興課
環境	地球温暖化防止計画の策定	新規 地球温暖化防止のため、温室効果ガス排出削減の実行計画を策定します	735万円	生活環境部 環境推進課
教育・文化財	笹葺(ささぶき)民家建築調査	新規 大宮町五十河の笹葺民家の文化財的な価値を判断するための基礎資料を得ることを目的に調査を実施します	113万円	教育委員会 文化財保護課
生活基盤の整備	十楽公有地造成事業	継続 京都府の公有地造成護岸等整備事業に併せて、公園、道路、駐車場などの埋め立て造成工事を行います	8,000万円	建設部 土木課

予算の概要については、市のホームページでも公開していますので、ご覧ください。
 ホームページアドレス <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>

グラフでみるきょうたんご

ご覧いただく際のご参考にしてください。

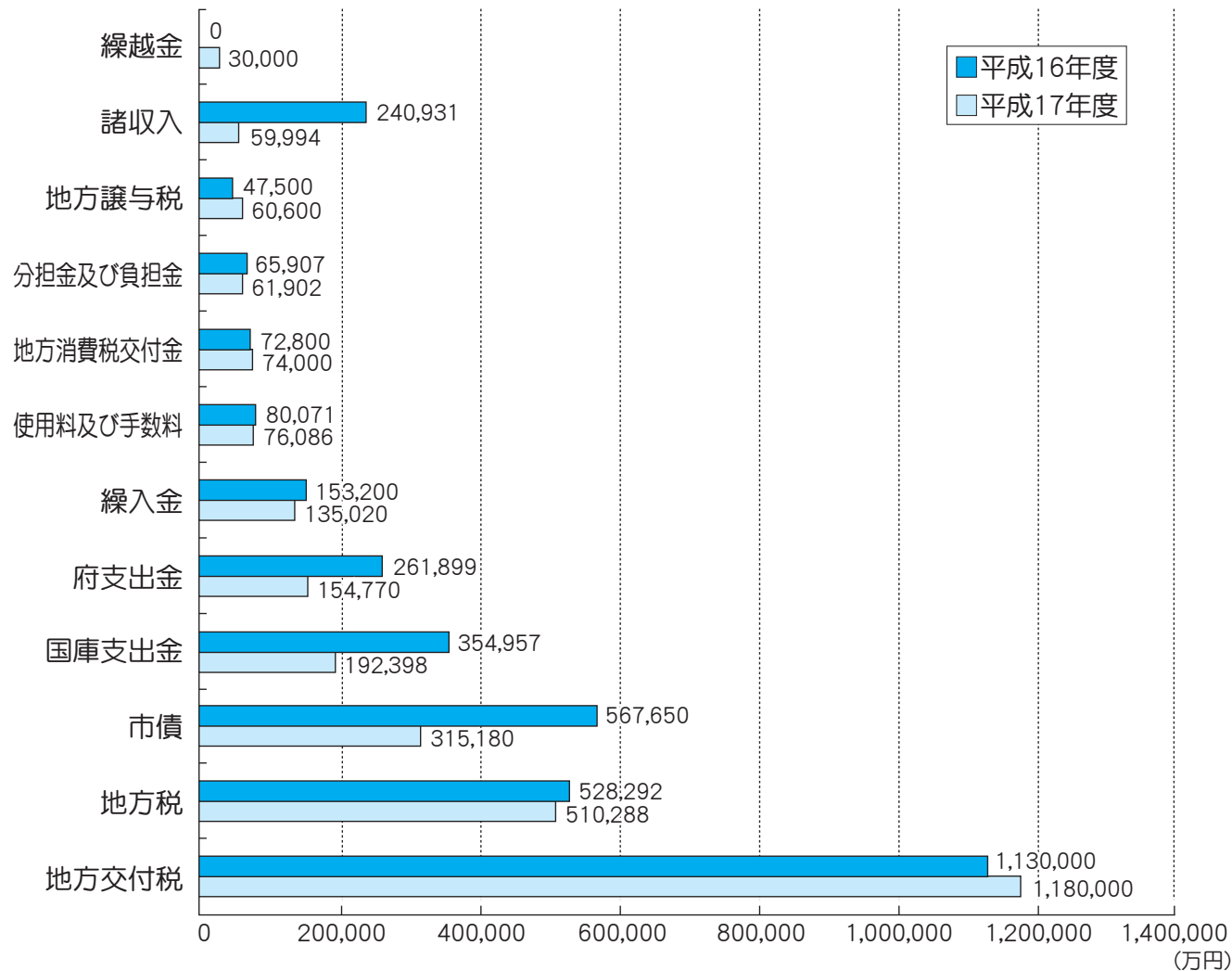
参考

- 市の予算は、「年度」という期間を使っています。
平成16年度とは…平成16年4月1日～平成17年3月31日
平成17年度とは…平成17年4月1日～平成18年3月31日
 - 京丹後市の人口 6万5,129人
(平成17年3月31日現在の住民基本台帳による数値)
- 市の借金や貯金の1人あたりの金額を計算する基礎に使いました。

平成17年度の収入の内訳

市の収入で一番金額の多いものは、国から配分される地方交付税の118億円で、市税が51億288万円、次いで市債（借金のことで、地方債とも呼ばれます）が31億5,180万円の順となっています。

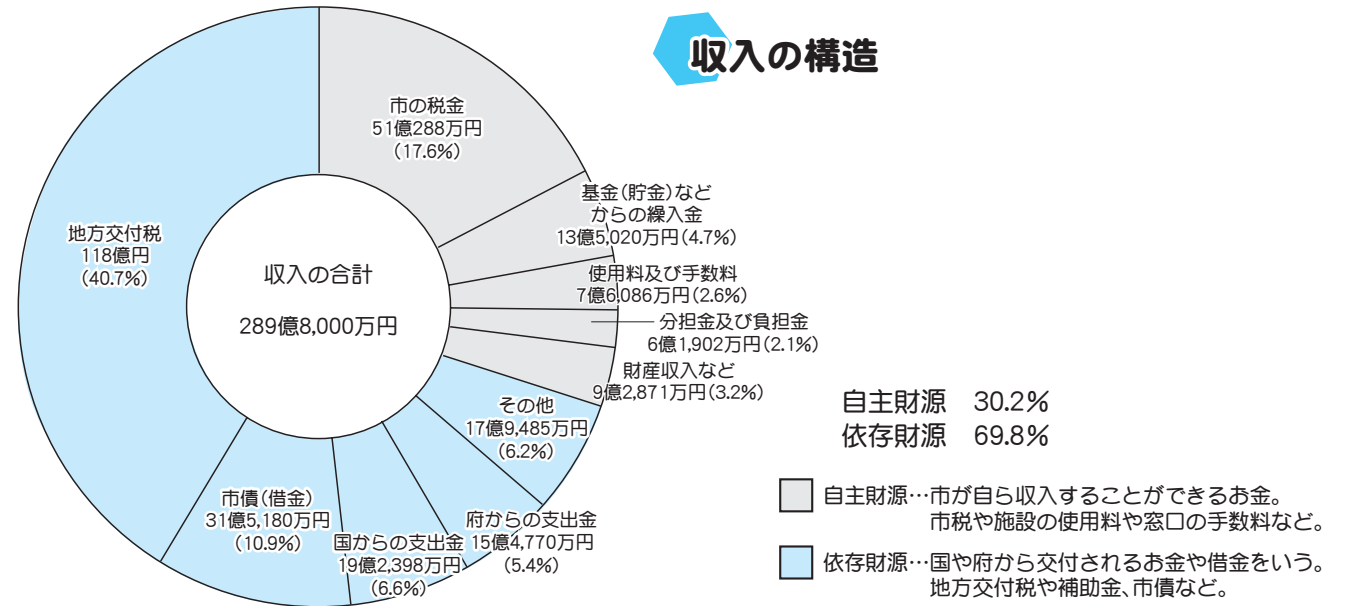
主な収入比較



財政基盤の安定や市民のニーズに応じた自主性のある行政サービスを提供するためには、一般的に自主財源の割合が高いほど望ましいと考えられています。

市の収入総額289億8,000万円に占める割合は、自主財源が87億6,167万円で30.2%、依存財源が202億1,833万円で69.8%となっています。国や府からもらえるお金や借金に頼った収入構造といえます。

収入の構造



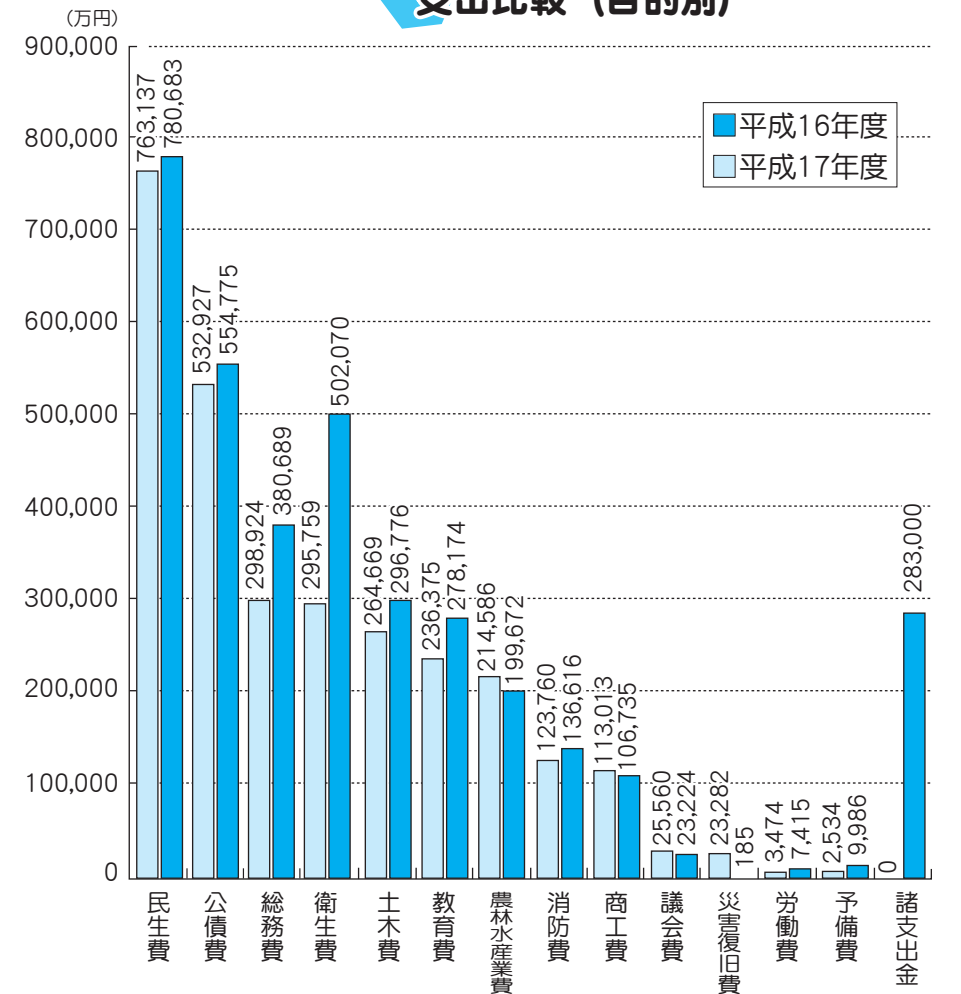
平成17年度の支出の内訳

平成16年度と平成17年度の一般会計予算をその目的ごとにグラフにしました。平成17年度の予算でみると民生費（老人福祉、児童福祉など）が76億3,137万円と最も多く、次いで公債費（借金の返済金）の53億2,927万円、総務費（地域振興、交通安全など）の29億8,924万円、衛生費（環境保全、医療対策など）の29億5,759万円という順になっています。

平成16年度と比較すると、諸支出金が全額なくなっていますが、これは合併のときの旧町の赤字補てんをしたものなので平成17年度はありません。

また、衛生費が20億6,311万円と大幅に減っています。これは、し尿処理施設の整備（竹野川衛生センター）や久美浜最終処分場の改修費、網野最終処分場の解体費を計上していたためです。

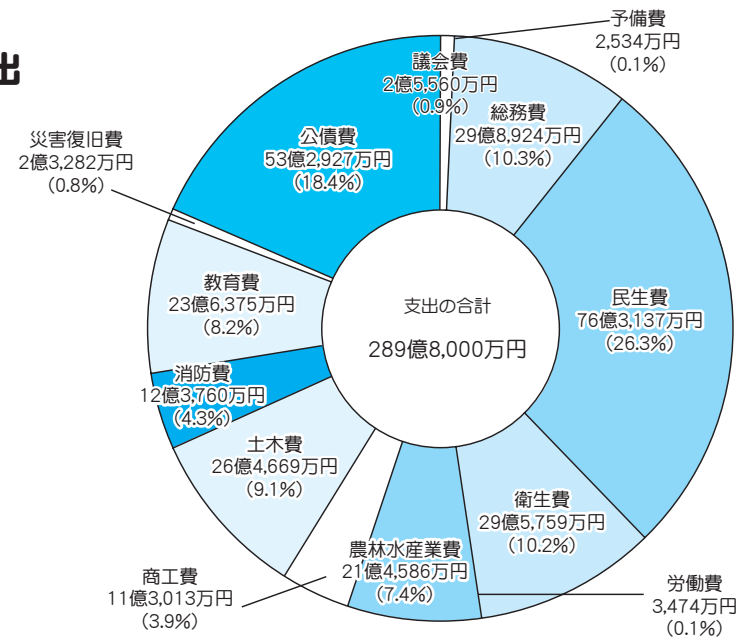
支出比較 (目的別)



商工費（商工業などに関する経費）、消防費（防災、消防業務などに関する経費）など、その目的によって区分した予算を『目的別予算』といいます。

その目的別にみた平成17年度予算の配分は次のグラフのようになっています。

目的別支出



次に、平成17年度の一般会計予算をその性質ごとにグラフにしました。

人件費（職員の給与や審議会の委員報酬など）、扶助費（生活保護費や児童手当など）のように、経済的な見方で区分した予算を『性質別予算』といい、商工費（商工業、観光などに関する経費）、消防費（防災、消防業務などに関する経費）など、その目的によって区分した予算（目的別予算）とともによく利用されます。

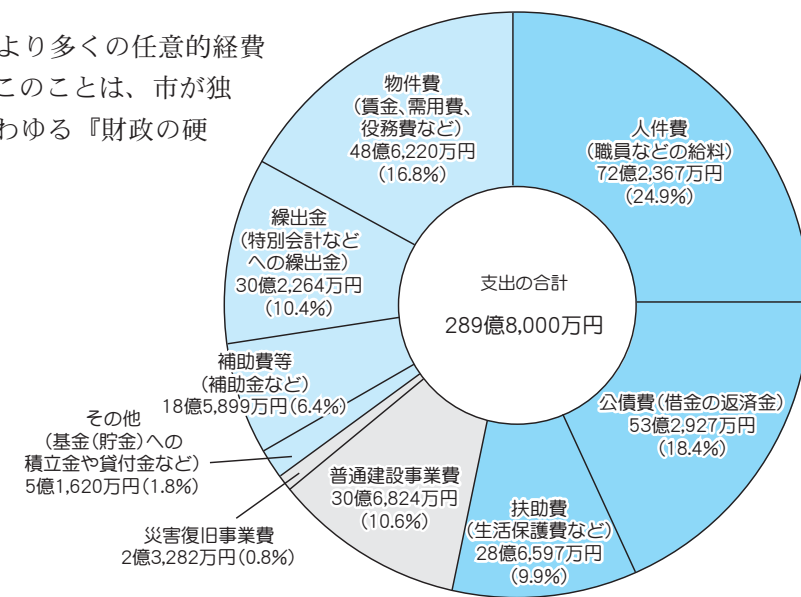
平成17年度の予算でみると、人件費が72億2,367万円と最も多く、次いで公債費（借金の返済金）の53億2,927万円、物件費（賃金、需用費、委託料など）の48億6,220万円という順になっています。

義務的経費（人件費、公債費や扶助費）は、必ず支払わないといけない経費なので、この義務的経費の割合が高くなると、市民のみなさんへの助成金や道路の改良工事などを縮小しなくてはならないこととなります。

また、収入（特に税金など）が減るとより多くの任意的経費や投資的経費の削減が必要となります。このことは、市が独自に事業を実施したくてもできない、いわゆる『財政の硬直化』が進んでいることとなります。

性質別支出

義務的経費 53.2%
任意的経費 35.4%
投資的経費 11.4%



- 義務的経費…給与(人件費)、借金の返済金(公債費)、生活保護費(扶助費)など法令などにより支出が義務づけられている経費。
- 任意的経費…義務的経費に対して任意の判断により支出できる経費で、各種団体への補助金や施設の管理経費などがあります。
- 投資的経費…道路や学校などの公共施設を整備するような経費で、工事請負費や用地購入費などがあります。

京丹後市の市債(借金)と基金(貯金)の状況

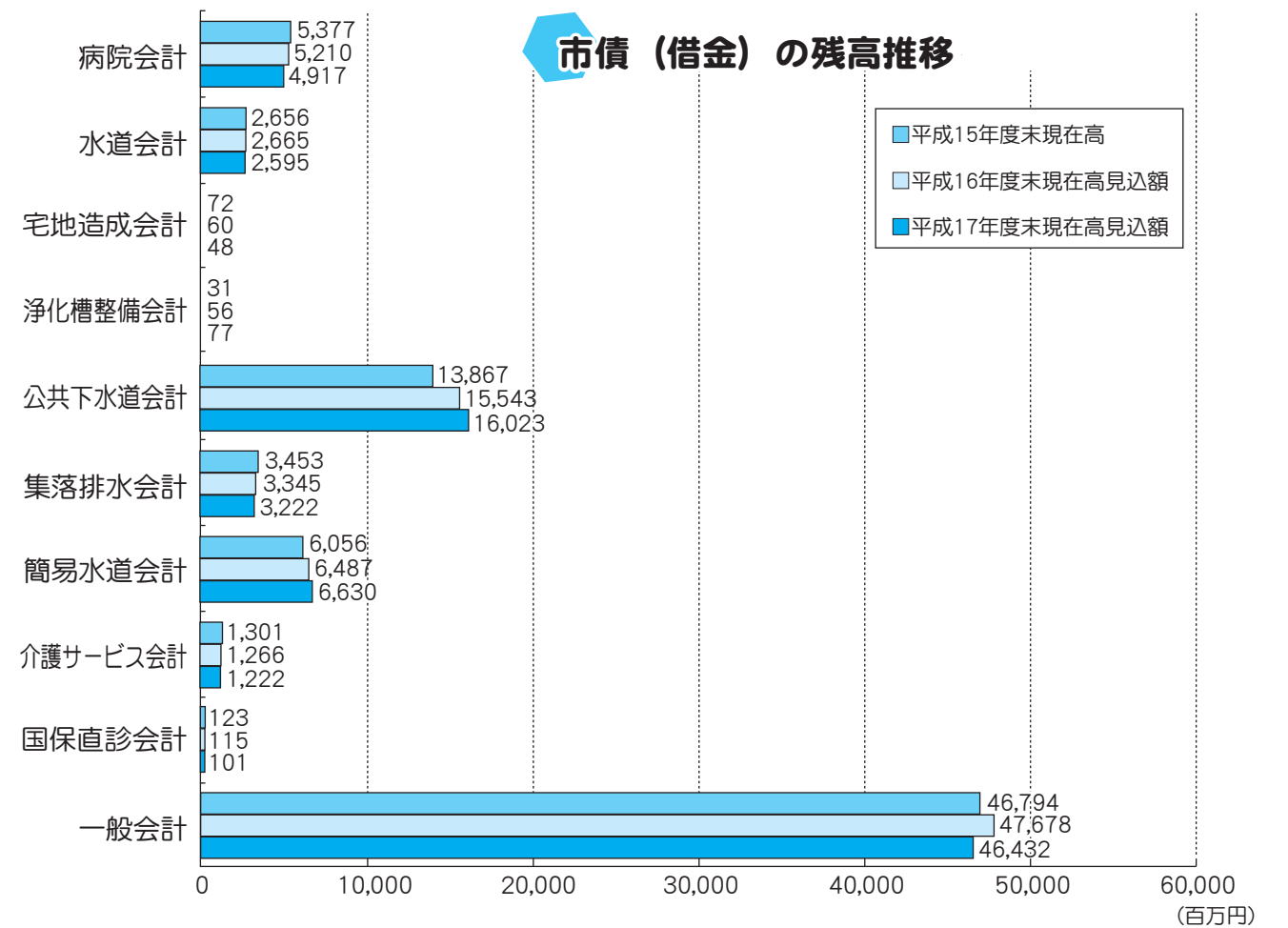
市の借金は、平成16年度末で全会計あわせて824億2,475万円（平成16年度末見込み）で、市民のみなさん1人あたりの借金の額を仮に換算すると約127万円になります。ただし、借金のなかには、返済金の一部が地方交付税（国からの交付金）で返ってくるものもあるため実質的にはもう少し少なくなります。

一方、平成16年度末の市の貯金残高の見込み額は、33億2,310万円で、市民のみなさん1人あたり5万円ほどになります。

1人あたりの借金127万円から貯金5万円を差し引くと、122万円借金が多いことがわかります。

市では、こうした借金と貯金とのバランスや経済の動向を考え、将来にわたってのさまざまな財政分析をしながら効率的な財政運営に努めています。

市債(借金)の残高推移



市債(借金)

自治体の借金は、地方債とか起債（きさい）と呼ばれています。

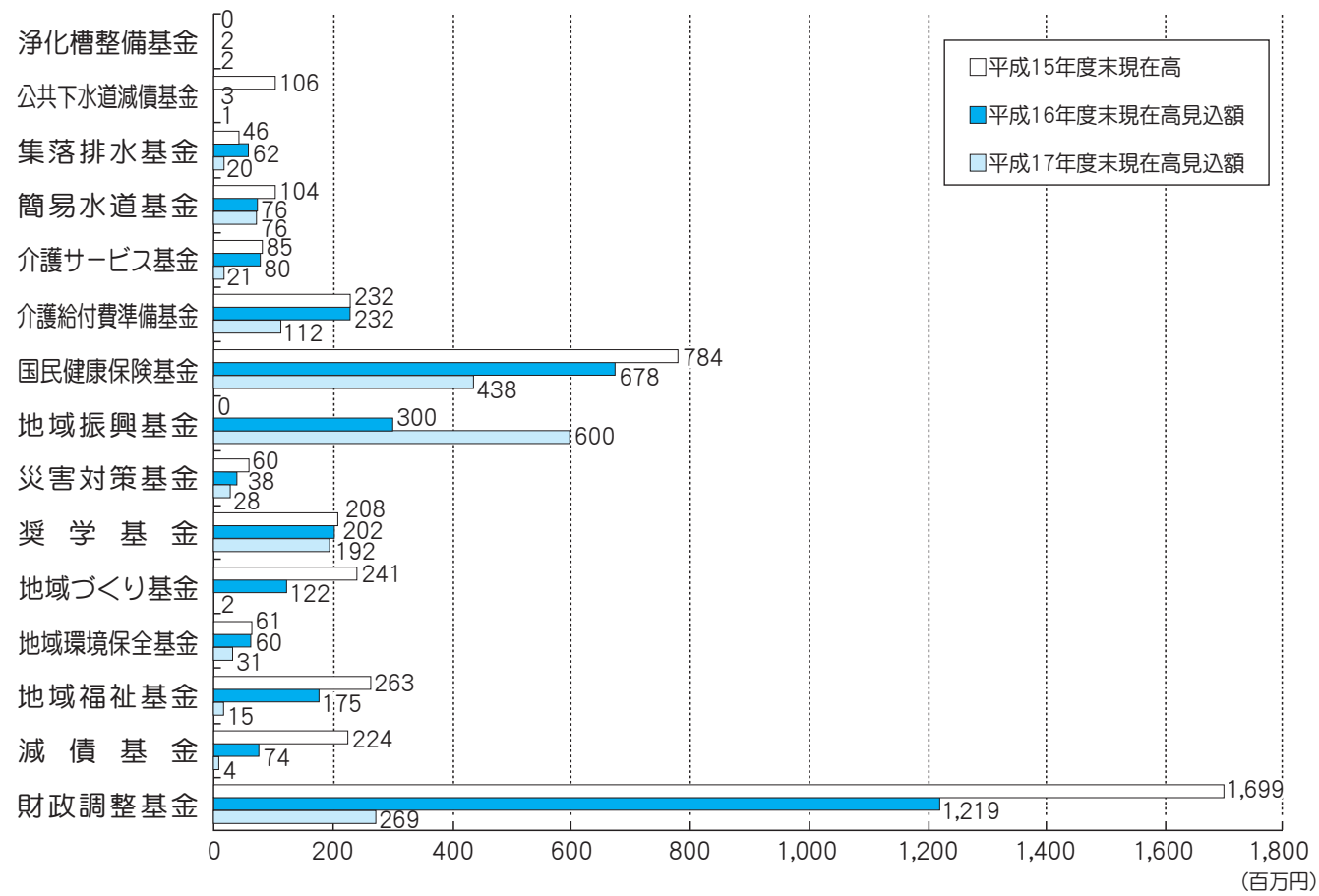
市の予算では、その年度に使うお金は、その年度に得る収入（市税や地方交付税など）でまかなうことを基本とした「会計年度独立の原則」があります。

しかしながら、その年度で市民のみなさんからいただく税金や地方交付税などだけでは、多額の費用がかかる施設の建設などを行うことが困難です。また、将来にわたって使用するような施設の建設費をその年度に住んでいる住民のかただけが負担するよりも、その施設を利用することができる住民のかたが借金を返済する形で少しずつ負担するほうが理にかなっています。

そこで、自治体にも借入金を起こせる『起債』という制度があります。

ただし、だからといってやみくもに借り入れることは許されず、返済金の一部が後年度に地方交付税で返ってくるようなものを中心として慎重に借り入れる必要があります。

基金（貯金）の現在高推移



基金（貯金）

市には、土地や建物、物品や債権などさまざまな財産のほかに、一般家庭の貯金に相当するといわれる基金があります。

市の貯金は、財政調整基金、減債基金、その他の基金に大きくわけられます。

●財政調整基金

市ではいつもの年度と比べて収入が少なかったからといって住民サービスを低下させることはできませんし、逆に、いつもの年度より収入が多かったからといって全額を使うようなことはしてはいけません。このため、余裕のお金があれば貯金として積み立てますし、災害などの支出によりお金が不足するようなときは、貯金を取り崩してまかないます。このようにして積み立てられてきたお金が財政調整基金なのです。

平成15年度末の現在高は16億9,900万円で、平成17年度末には2億6,900万円と貯金の残高見込みが大幅に減っていますが、これは平成17年度当初予算を編成するための財源として9億5,000万円を予定しているためです。とはいうものの、市の貯金が、底をついている厳しい状況にあると言えます。

●減債基金

借金の返済金のためだけに使用することができる積立金です。

減債基金も財政調整基金と同様に、平成17年度当初予算で7,000万円を予定しています。

●その他の基金

下水道の普及のために使う基金のほか、国民健康保険事業や介護保険事業などを円滑に行うための基金、地域振興・地域づくりなどまちづくりのために使う基金があります。銀行などに預けているので利息なども積み立てます。

合併後の市民のみなさんの連帯強化や均衡ある地域の発展のため、合併特例債を活用して、地域振興基金を設置しています。平成17年度に3億円を積み立てる予定で、平成17年度末の残高見込みは6億円となります。積み立てたお金の利子を活用し地域振興に役立てていきます。

いずれの基金も条例に基づき設置し、管理運用を行っています。

平成17年度の人件費の状況

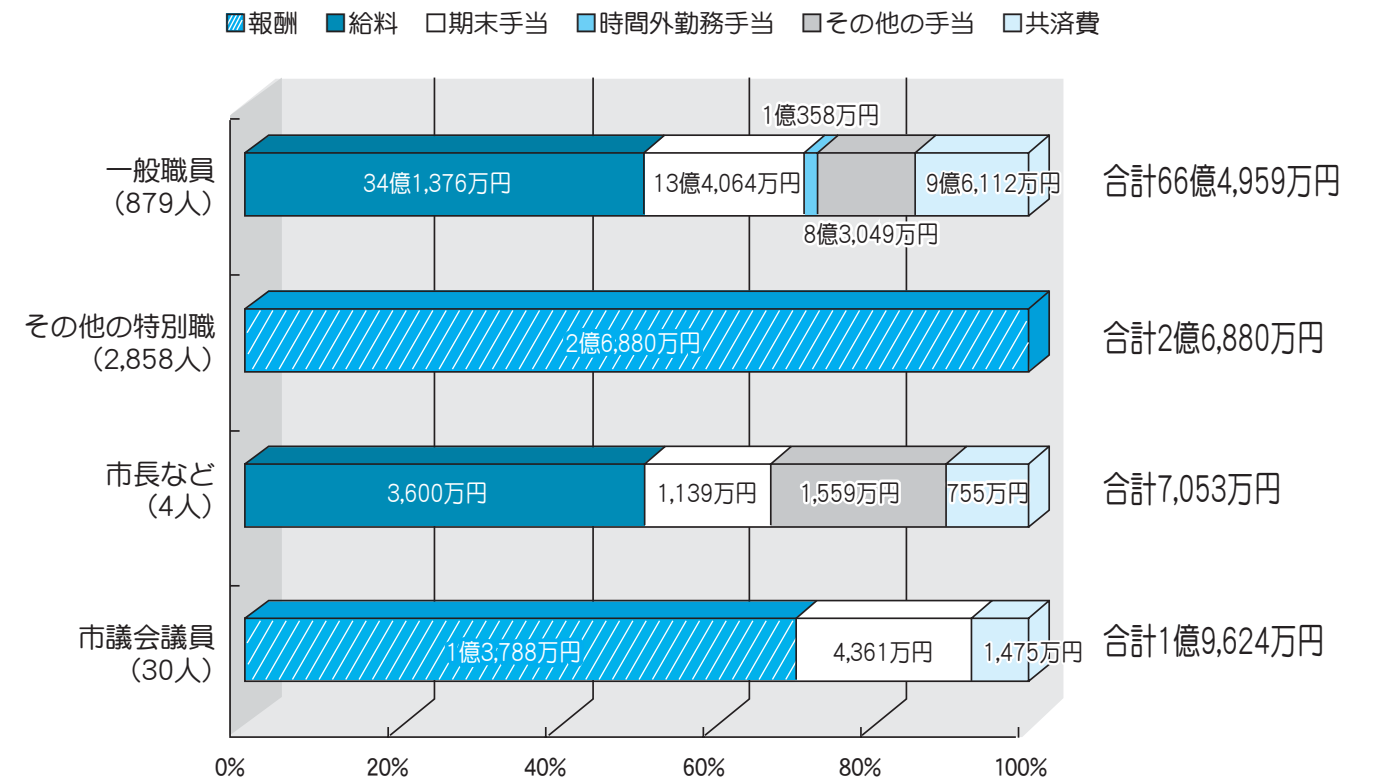
平成17年度の一般会計における人件費は、総額で72億2,367万円となっています。平成16年度の人件費総額が75億7,862万円でしたので、3億5,495万円の減額となりました。その主な理由としては、23人の職員が退職したこと、京丹後市をスムーズにスタートさせるために要した職員の時間外手当を大幅に減額したためです。

また、平成17年度の人件費（報酬や給料・手当のほか、共済費も含みます）の内訳は、市議会議員が1億9,624万円、市長など（市長・助役・収入役・教育長）が7,053万円、その他の特別職（審議会の委員など）の報酬が2億6,880万円、一般職員が66億4,959万円となっています。そのほか、災害復旧などの事務費として計上している職員人件費が3,851万円あります。

人件費は、財政を圧迫する要因となることから、適正な職員定員の管理に努め、採用なども慎重に行う必要があります。

ここでは、一般会計（水道会計や病院会計などは含みません）の人件費を中心に、職員数の推移のほか、合併したことで人件費にどれくらいの影響があったかをご紹介します。

平成17年度 人件費の内訳



●特別職や一般職員の給与の決め方

特別職の報酬は、市民のかたで構成される「特別職報酬等審議会」で検討していただき、その検討結果をもとに作成した条例の改正案を議会に提出します。議会の議決のあと、報酬の額が決定されます。

（単位：円、月額）

市長など				市議会議員		
市長	助役	収入役	教育長	議長	副議長	議員
920,000	740,000	670,000	670,000	450,000	400,000	380,000

また、職員の給与の改正は、国の人事院勧告を参考として行われます。職員の給与はすべて条例の規定に基づき支給しています。

●一般職員数の推移（各年度の4月1日現在で比較しています）



平成16年度と平成17年度を比較すると、一般職員は10人減っています。

退職により23人減って、新規採用者が10人増、さらに病院から異動者があり3人増、差し引き10人の減となりました。

退職者数に対する採用者数の割合は約4割程度で、職員数の抑制に努めています。

●合併による人件費への影響（参考）

市議会議員（議員報酬、期末手当、議員共済費）

平成15年度（6町合計）	3億3,447万円	96人
↓ 1億6,572万円の減		
平成16年度	1億6,875万円	30人
↓ 1億3,823万円の減 ※11か月分		
平成17年度	1億9,624万円	30人

2か年で、約3億円が減少しています

市長など（給料、各種手当、共済費）

平成15年度（6町合計）	3億2,367万円	23人
↓ 2億4,985万円の減		
平成16年度	7,382万円	5人
↓ 2億5,314万円の減 ※11か月分		
平成17年度	7,053万円	4人

2か年で、約5億円が減少しています

一般職員（給料、各種手当、共済費）

平成15年度（6町合計）	72億9,457万円	937人
↓ 2億5,241万円の減		
平成16年度	70億4,216万円	889人
↓ 6億4,498万円の減		
平成17年度	66億4,959万円	879人

2か年で、約9億円が減少しています

資料

京丹後市の財政状況を京都府内の市と比べると

標準財政規模（千円） 【団体の規模によりま すが大きいほうがよい】	<参考> 平成15年度末 住民登録人口（人）	財政力指数 （3年平均） 【高いほうがよい】	起債制限比率（%） （3年平均） 【低いほうがよい】	
宇治市	29,901,975	187,557	舞鶴市	7.0
舞鶴市	18,217,360	92,826	向日市	7.5
京丹後市	18,050,198	65,822	宇治市	7.8
亀岡市	17,210,717	94,602	長岡京市	8.0
福知山市	14,385,833	67,815	京田辺市	10.3
城陽市	13,445,900	82,829	京丹後市	10.4
長岡京市	13,306,069	77,212	城陽市	10.4
八幡市	12,777,095	73,438	綾部市	10.5
京田辺市	10,892,005	58,063	八幡市	11.1
向日市	9,382,579	54,063	福知山市	11.4
綾部市	8,835,344	39,050	亀岡市	12.5
宮津市	6,041,631	22,925	宮津市	13.3
府内平均 （京都市除く）	6,403,124	31,029	府内平均 （京都市除く）	10.6
市平均	14,370,559	76,350	市平均	10.0
町村平均	2,725,846	10,112	町村平均	10.8

資料（標準財政規模）：

平成16年度市町村標準財政規模
（京都府総務部地方課）

（注）京丹後市の標準財政規模の算出にあたって使用した標準財政収入額および地方譲与税交付金などの額は、一本算定による額です。

資料（平成15年度末住民登録人口）：

平成15年度地方財政状況調査

（注）京丹後市の数値は、旧6町の合計です。なお、旧6町分は京丹後市として市平均に含めたため、町村平均から除いています。

資料：平成16年度財政力指数

（京都府総務部地方課）

（注1）平成14年度から平成16年度までの単年度指数の平均です。

（注2）京丹後市における平成15年度までの単年度指数は、各年度の旧町の基準財政収入額合計を基準財政需要額合計で除したもので、平成16年度の単年度指数は、一本算定による額で算出しています。

資料：平成15年度地方財政状況調査

（注1）平成13年度から平成15年度までの単年度比率の平均です。

（注2）京丹後市の数値は、旧6町の平均です。なお、旧6町分は京丹後市として市平均に含めたため、町村平均から除いています。

■標準財政規模…その地方公共団体の標準的な状態で通常収入される見込みの経常的な一般財源を示すものです。その団体の標準的な税収入額と普通交付税額を合算したものです。

■財政力指数…地方税の収入能力、普通交付税に依存する度合いがどの程度かを示すもので、基準財政収入額を基準財政需要額で除して算出します。地方交付税を算定する基準となり、財政力指数が1.000に近くあるいは1.000を超えるほど財源に余裕がある富裕な団体といえ、1.000を超えると普通交付税の不交付団体となります。

■起債制限比率…毎年度経常的に収入される財源（標準財政規模）のうち、公債費（普通交付税が措置されるものを除きます）に充てられたものの占める割合です。起債制限比率が20%以上になると一般単独事業などに係る地方債の発行が制限されます。

京丹後市の財政状況を京都府内の市と比べると

経常収支比率 (%) 【低いほうがよい】	
福知山市	80.9
舞鶴市	84.2
長岡京市	85.6
綾部市	86.0
亀岡市	86.0
宇治市	87.0
京田辺市	90.2
向日市	90.8
城陽市	91.3
宮津市	93.1
京丹後市	95.3
八幡市	97.1
府内平均 (京都市除く)	91.7
市平均	89.0
町村平均	93.0

地方税 収入額 (千円)	
宇治市	23,008,904
長岡京市	11,404,139
舞鶴市	10,058,582
亀岡市	9,414,001
福知山市	9,405,174
八幡市	8,654,276
城陽市	8,496,329
京田辺市	8,248,799
向日市	6,181,807
京丹後市	5,075,697
綾部市	4,169,793
宮津市	3,068,759
府内平均 (京都市除く)	3,677,627
市平均	8,932,188
町村平均	1,252,445

地方交付税 収入額 (千円)	
京丹後市	12,740,578
舞鶴市	7,744,014
亀岡市	7,172,025
宇治市	5,269,660
綾部市	4,619,505
福知山市	4,568,808
城陽市	4,343,979
八幡市	3,924,364
宮津市	3,336,469
向日市	2,998,118
京田辺市	2,064,777
長岡京市	1,464,081
府内平均 (京都市除く)	2,592,290
市平均	5,020,532
町村平均	1,471,563

資料：平成15年度地方財政状況調査

(注1) 京丹後市の数値は、旧6町の平均です。なお、旧6町は京丹後市として市平均に含めたため、町村平均から除いています。

(注2) 経常収支比率の算出にあたっては、減税補てん債と臨時財政対策債を経常一般財源に加えて算出しています。

資料：平成15年度地方財政状況調査

(注1) 京丹後市の数値は、旧6町の合計です。なお、旧6町は京丹後市として市平均に含めたため、町村平均から除いています。

(注2) 国民健康保険税(料)は含んでいません。

資料：平成16年度普通交付税額

および特別交付税額
(京都府総務部地方課)

■**経常収支比率**…その地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使用されるもので、人件費、扶助費、公債費など歳出の経常経費の一般財源に市税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入の一般財源がどの程度充てられるかを示すものです。経常収支比率は、70～80%の範囲内にあるのが標準的とされ、80%を超えるとその団体は財政構造が硬直化傾向にあるとされるため、経常的経費の抑制に努める必要があります。

■**地方税**…市町村税や固定資産税のほか、都市計画税や入湯税などがあります。その団体が他に依存することなく、自主的に財源を求めることができ、市民のみなさんの所得が向上したり、新たな住居が増えたりすれば増加します。

■**地方交付税**…地方公共団体が、地域格差なく標準的な行政事務が行えるよう、一定の基準により地方公共団体に配分されるもので、財政力の弱い団体は地方交付税の配分割合が高くなります。

この「わかりやすいことしの予算」の内容に関するご意見・お問い合わせは、
京丹後市役所 総務部 財政課まで
お気軽にご連絡ください。
☎0772-69-0160